

平成 17 年 3 月 10 日

報道資料

南海電気鉄道株式会社
株式会社高島屋

「なんばパークス」第 2 期計画の概要と

シネマコンプレックス出店者の決定について

南海電気鉄道株式会社（社長：山中 諄）と株式会社高島屋（社長：鈴木弘治）では、共同で「なんばパークス」第 2 期計画を推進しておりますが、このたびその概要が決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

また、第 2 期計画の核施設となるシネマコンプレックス（複合映画館）の出店者が松竹株式会社（社長：迫本淳一）と東映株式会社（社長：岡田裕介）に決定しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. なんばパークス第 2 期計画の概要について

(1) 開業時期について

平成 19 年（2007 年）春に全館開業いたします。

(2) 施設概要について

なんばパークス第 2 期計画は、既に関業している第 1 期の商業棟が南側へ拡張する形で増床し、商業施設（ショップス & ダイナース）とシネマコンプレックスで構成されます。

専門店街は、1 階から 5 階が物販を中心とした店舗構成で、6 階から 8 階が飲食を中心とした店舗構成となります。また、シネマコンプレックスが 6 階から 10 階までを構成します。

【なんばパークス全体概要】

事業主体 / 南海電気鉄道株式会社 株式会社高島屋

所在地 / 大阪市浪速区難波中 2 丁目 10 番 70 号

敷地面積 / 33,729 m² (1 期 22,281 m² 2 期 11,448 m²)

建築面積 / 25,500 m² (1 期 16,400 m² 2 期 9,100 m²)

延床面積 / 243,800 m² (1 期 167,200 m² 2 期 76,600 m²)

店舗面積 / 58,000 m² (1 期 24,500 m² 2 期 33,500 m²)

店舗数 / 200 店舗 (1 期 107 店舗 2 期 93 店舗)

高島屋区画は未定です。

(3) 高島屋の出店について

高島屋は、商業棟1階から3階の大型区画(約7,200㎡)を保有し、専門店街をプロデュースします。

(4) 屋上公園「パークスガーデン」の拡張について

第1期では約8,000㎡の屋上を緑化し、ご来場のお客さまに「癒し」の空間を提供した屋上公園「パークスガーデン」ですが、第2期においても3,500㎡の公園を整備し、合計11,500㎡もの広大な「都会の杜」を大阪・ミナミの地にもたらしめます。第2期では、8階・9階において平面に広がる回遊型の屋上公園を建設し、季節ごとに開花する数多くの樹木や夜間のイルミネーションをお客さまに楽しんでいただきます。

(5) 着工時期について

平成17年4月から準備工事に着工し、6月から本格工事に取りかかる予定です。

2. シネマコンプレックス出店者の決定について

なんばパークス第2期計画の集客施設の核として、シネマコンプレックスの誘致に取り組んでおりましたが、このたび松竹株式会社及び東映株式会社の2社を出店者として迎えることになりました。

両社が展開するシネマコンプレックスは、11スクリーン約2,200席の規模で、大阪市内では最大規模となる予定です。また、ロビーのある8階は、屋上公園に面し自然を体感できる開放的な空間を演出する計画です。

なんばパークス第2期計画開業に至るまでのあゆみ

平成	元年	7月	南海電気鉄道(株)、大阪スタヂアム興業(株)、(株)高島屋、(株)ニッピ、(株)クボタの5社により「難波地区開発協議会」発足
	4年	4月	「難波地区土地区画整理組合設立準備会」設立
	7年	11月	「大阪市難波土地区画整理組合」設立認可
	8年	8月	難波地区再開発地区計画の都市計画決定
	10年	10月	南海電気鉄道(株)と大阪スタヂアム興業(株)が合併
	10年	11月	大阪球場の解体工事に着手
	11年	11月	難波再開発A-1地区「なんばパークス」建設工事着工
	14年	9月	ウインズ難波が先行開業
	15年	10月	「なんばパークス」グランドオープン(第1期)
	17年	4月	「なんばパークス」第2期準備工事に着工 (6月 本格工事着工)
	19年	春	「なんばパークス」グランドオープン(第2期)



なんばパークス全景



2期屋上公園完成予想図